



討議内容及び経過	(発言者名)	(発言内容)
1 開会	中村部長	(開会)
2 委員の委嘱		(市長より委員の委嘱を行う。)
3 市長あいさつ	花岡市長	<p>本日は、大変お忙しい中ご出席いただき、また、令和10年3月末までの2年間、当審議会の委員をお引き受けいただき、御礼申し上げます。</p> <p>この「まちづくり審議会」は、総合的かつ計画的な市政の運営及び明るく豊かな住みよいまちづくりの推進に関し、必要な事項を調査・審議するために設置する審議会であり、委員の皆様それぞれのお立場から貴重なご意見を頂戴し、よりよいまちづくりを推進していきたいと考えている。</p> <p>本日は、「宿泊交流拠点施設整備事業の進捗状況」及び、「とうみeなびアプリ」についてご報告させていただく。</p>
4 自己紹介		委員及び事務局の自己紹介。
5 説明事項	櫻井	まちづくり審議会の役割について説明。
6 役員の選任		互選により、花岡裕子委員が会長、森澤隼門委員が職務代理者に決定。
7 報告事項	上野課長 荒井係長	宿泊交流拠点施設整備事業の進捗状況について説明
	中村委員	どのような層をターゲットとしているのか。
	荒井係長	ミドル層をターゲットとしており、インバウンド等、当市がこれまで取得できていなかった海外の方も集客していきたいと考えている。
	中村委員	何を目的として利用いただくのか。
	荒井係長	ワイナリーや湯の丸高原利用者に宿泊いただくなど、滞在型観光施設としての利用を考えている。
	中村委員	食事の値段はどのような想定でいるのか。
	荒井係長	現状食事は7,000円～15,000円の範囲での提供を考えている。
	小林委員	建設に際し、現状日程、費用などはどのような影響があると考えているのか。
	荒井係長	日程は現状6月に設計業務、12月に工事契約を想定している。 費用の面は物価高騰の影響もあるが、予算内でやりくりできるよう想定している。
	宮嶋委員	家族連れの宿泊客に対して、子ども向けの施設、食事等も検討していただきたい。
	中村委員	ミドル層をターゲットとした施設は増えている傾向にある。相乗効果が生まれる観点で、宿泊施設に平行して東御市の財産である湯の丸高原の植物にも手を加えるような取り組みを検討していただきたい。
	上野課長	湯の丸の資源については有効に活用していきたい。 また、客室に関しては、ファミリー向けやスタンダードなど、複数のタイプを想定している。
	荒井係長	湯の丸の資源活用に加え、インバウンドにも対応できるようなガイドの育成ということも含めた事業運営を検討している。
	馬場委員	ワイン等を目的に、イベントの時は市外からも多くの観光客が東御市を訪れているため、宿泊施設には必要性を感じる。ぜひ計画を推進していただきたい。
	土屋委員	今回申請する補助金について、事業実施期間は令和9年3月までという認識でよいか。
	荒井係長	ご認識のとおりであるが、資材不足に伴い、設計変更などが必要になる可能性もある。その際は国への協議を行い、計画変更等の対応を行っていく。
	船田委員	東御市内にワイナリーの建設計画があるが、ワイン含め、そのほかの農産物分野との連携も検討していただきたい。

	荒井係長	コンソーシアムを行い、様々な分野の方から意見をいただいている。 将来的には、総合的に関与いただけるようなかたちを行っていきたい。
	上野課長	とうみeなびアプリについて説明。
8 その他	櫻井	（次回開催予定9月）
9 閉会	森澤委員	（閉会）